

令和5年度第1回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1 開催日時等

令和5年6月23日（金曜日）午後2時から3時50分まで（オンライン開催）

事務局設置場所：健康安全研究センター本館6階会議室

2 議事及び報告事項

(1) 議事：事例の検討について

令和5年5月31日までの間に都医師会、都薬剤師会を通じて収集した12事例について検討を行った（うち1事例は、令和4年度第2回から再掲）。

検討の結果、緊急調査等が必要な事例はなかった。

4事例（肝機能検査値異常、胃部不快・だるさ、皮膚症状、嘔気・嘔吐）に関して、都医師会、都薬剤師会へ情報提供し、更なる情報収集について協力を依頼することとなった。

2事例（下痢／嘔気・嘔吐、胃部不快／嘔気・嘔吐）は、摂取状況・転帰等が不明であるために因果関係が不明であることから、蓄積していくという結論になった。

6事例（尿酸値上昇、血圧上昇、皮膚症状（2）、肝機能検査異常／腹部膨満感、腹痛／胃部不快）は非重篤な事例であり、患者の体質等製品以外の影響も考えられることから、蓄積していくという結論になった。

基礎疾患のある人（医薬品を服用している人）やアレルギー体質の人が健康食品を摂取する際は、利用前に医師・薬剤師等に相談することが大切であるとの意見があがった。

(2) 事務局からの報告事項

ア 東京都医師会及び東京都薬剤師会への協力依頼の実施について

（令和4年度第2回「健康食品」による健康被害事例専門委員会終了後の資料送付）

令和4年度第2回当専門委員会での検討結果、情報提供することとした11事例（皮膚症状4、消化器症状4、胸が張る2、鼻血1）について、都医師会、都薬剤師会に対して協力を依頼した。

イ 収集事例の集計結果について

平成18年7月1日から令和5年5月31日までに収集した事例の集計結果は、下表（抄）のとおりである。

健康食品との関連が疑われる健康被害事例の集計結果（抄）

ア 情報共有シート提供元の内訳

| 提供元 | 報告数（件） | 患者数（人） |
|-------------------|--------|--------|
| 医師会 | 266 | 185 |
| 薬剤師会 | 230 | 216 |
| 東京都消費生活総合消費者センター* | 3 | 3 |
| 合計 | 499 | 404 |

※東京都消費生活総合センターについては、分析・評価の依頼のあった事例について、平成 30 年 7 月 17 日から「健康食品」による健康被害事例専門委員会の分析・評価の対象としている。

イ 利用目的の年代別分布（複数報告あり）

| | ダイエット・美容 | 便秘 | 婦人科疾患改善 | 強精 | 血流改善 | 栄養補給 | 腰痛・関節痛 | 血圧改善 | 血糖値改善 | 肝機能改善 | 美肌 | 免疫賦活 | 健康維持・健康増進 | 病気の改善 | 病気の予防 | 美容 | バストアップ | 筋肉増強 | その他・不明 | 年代別患者数 |
|---------|----------|----|---------|----|------|------|--------|------|-------|-------|----|------|-----------|-------|-------|----|--------|------|--------|--------|
| 10代 | 2 | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 | 7 |
| 20代 | 20 | | 1 | 1 | | 3 | | | | | 2 | | 1 | 4 | | 4 | 3 | | 18 | 57 |
| 30代 | 18 | 1 | 2 | | 1 | 5 | | | | | 5 | | 4 | 1 | | 7 | | | 19 | 63 |
| 40代 | 18 | 2 | 4 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 6 | 3 | 1 | 5 | | | 20 | 69 |
| 50代 | 10 | 4 | 1 | | 1 | 26 | 13 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 8 | 2 | 2 | 4 | | 1 | 34 | 113 |
| 60代 | 9 | 5 | 1 | 1 | 3 | 13 | 20 | 4 | | | 1 | 2 | 15 | 7 | 1 | 1 | | 2 | 35 | 120 |
| 70代以上 | 10 | 8 | 2 | | 5 | 25 | 46 | 5 | 6 | 4 | 1 | | 14 | 8 | 1 | 3 | | 2 | 66 | 206 |
| 不明・記載なし | 2 | 1 | | | 3 | 1 | | | 1 | | | | 3 | | 1 | 1 | | | 42 | 55 |
| 合計 | 89 | 21 | 11 | 3 | 15 | 78 | 81 | 11 | 9 | 5 | 12 | 4 | 51 | 25 | 6 | 25 | 3 | 5 | 236 | 690 |

- ・ダイエット・美容は 20～40 代、栄養補給、腰痛・関節痛は 50 代以上、健康維持・健康増進は 60 代以上が多い。
- ・年齢別では、50 代以上の利用が多い。

ウ 性別割合

| 性別 | 患者数(人) | 構成比 |
|------|--------|-------|
| 女性 | 295 | 73.0% |
| 男性 | 104 | 25.7% |
| 記載なし | 5 | 1.2% |

・女性 は 男性 の 約 3 倍 で あ っ た。

エ 医師の診察の有無

| 医師の診察の有無 | 患者数(人) | 構成比 |
|----------|--------|--------|
| あり | 254 | 62.9% |
| なし | 93 | 23.0% |
| 不明・記載なし | 57 | 14.1% |
| 合計 | 404 | 100.0% |

・医師の診察がない（又は不明）患者が約 4 割であった。

オ 基礎疾患の有無

| 基礎疾患の有無 | 患者数(人) | 構成比 |
|---------|--------|--------|
| 有り | 243 | 60.1% |
| 無し | 114 | 28.2% |
| 不明・記載なし | 47 | 11.6% |
| 合計 | 404 | 100.0% |

・基礎疾患のある人の事例は約 6 割であった。

カ 基礎疾患に対する治療薬の有無

| 基礎疾患に対する治療薬の有無 | 患者数(人) | 構成比 |
|----------------|--------|--------|
| 有り | 188 | 77.4% |
| 無し | 14 | 5.8% |
| 記載なし | 41 | 16.9% |
| 合計 | 243 | 100.0% |

(母数：基礎疾患のある 243 人)

・基礎疾患のある人の約 8 割が、治療薬と健康食品とを併用していた。

キ 症状・異常所見等（複数報告あり）

| 症状・異常所見等 | 報告数（件） |
|----------------|--------|
| 皮膚症状（発疹・発赤・掻痒） | 130 |
| 胃痛・胃部不快感・吐気 | 81 |
| 肝機能障害、肝機能検査値異常 | 47 |
| 血液検査異常(肝機能以外) | 44 |
| 下痢・軟便 | 43 |
| 便秘 | 13 |
| 倦怠感 | 7 |
| 出血、出血傾向 | 7 |
| めまい・ふらつき | 6 |
| 頭痛 | 6 |
| 下腹部痛、子宮出血 | 2 |
| その他 | 59 |
| 合計 | 445 |

（母数：404人）

・症状は「皮膚症状」が最も多く、次いで「胃痛・胃部不快感・吐気」「肝機能障害・肝機能検査値異常」であった。

・なお、症状・異常所見と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものである。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿
(五十音順・敬称略)

令和5年6月現在

| No. | 氏名 | 所属 |
|-----|---------------|----------------------------|
| 1 | 梅垣 敬三 (座長) | 静岡県立大学 客員教授 |
| 2 | 小林 弘幸 | 公益社団法人東京都医師会 理事 |
| 3 | 町田 奈緒子 | 公益社団法人東京都薬剤師会 理事 |
| 4 | 水谷 太郎 | 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 理事長 |
| 5 | 山口 正雄 | 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科(呼吸器)教授 |
| 6 | 山口 隆司 | 一般財団法人食品産業センター 海外室 室長 |